

## 中国語 (Chinese)

### 中国語入門 (Introductory Chinese)

(総科 ((総科B)1年))

施国恩・非常勤講師

1単位 前期 月 5・6

(平成19年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成16年度以前 (医保は17年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

**【授業の目的】** 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約5分の1の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつともなっています。国際人になるための大変役立つ言語です。

**【授業の概要】** 中国語で使われている文字は漢字ですがその漢字の読み方を示すものは「ピンイン」と呼ばれ、ローマ字で表記され、その特異なイントネーションは「声調」と呼ばれ「四声」で表記されます。「ピンイン」と「声調」を習得することが中国語(1)の第一の目標です。ピンインと声調は繰り返し発音し、体で覚えましょう。次に基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やし、簡単な日常会話もできるようになるでしょう。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して授業を進めます。

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【到達目標】** 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

**【授業の計画】**

1. ガイダンス
2. 発音 A・B
3. 発音 C・D
4. 第1課
5. 第2課
6. 第3課
7. 第4課
8. 第5課
9. 中間テスト
10. 第6課
11. 第7課
12. 第8課
13. 第9課
14. 第10課

15. 期末試験

16. 総括授業

**【教科書】** 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム版①』(朝日出版社)1500円。  
CDがあるので必ず購入すること。

**【参考書等】** [参考資料]

**【成績評価の方法】** 二人の教員がそれぞれ別個に評価を行い、合算して最終的な評価を決定します。評価方法:平常点, 中間考査及び期末試験により総合的に評価します。三つの部分の点数配分については, 出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が10%, 中間考査が40%, 期末試験が50%ということになっています。

**【再試験の有無】** 有

**【受講者のメッセージ】** 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと(特に第一回目はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220946>

**【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】**

⇒ 施 .

**【備考】** 水 1-2 田中(智)先生とペア

## Chinese

### Introductory Chinese

(総科((総科B)1年))

名姓・PART-TIME LECTURER

1 unit 前期 月 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

**Target)** 現代標準中国語を学ぶことを目的とします。現在、世界の約 5 分の 1 の人々が中国語を使用しています。現代中国語は数ある方言に対して普遍的な価値を持ち、世界各地の華人社会の共通語であり、国連の公用語のひとつもなっています。国際人になるための大変役立つ言語です。

**Outline)** 中国語で使われている文字は漢字ですがその漢字の読み方を示すものは「ピンイン」と呼ばれ、ローマ字で表記され、その特異なイントネーションは「声調」と呼ばれ「四声」で表記されます。「ピンイン」と「声調」を習得することが中国語(1)の第一の目標です。ピンインと声調は繰り返し発音し、体で覚えましょう。次に基本文型を学びます。文法を理解し、少しずつ語彙を増やし、簡単な日常会話もできるようになるでしょう。上記の目標を達成するため、週二回の授業を二人の教員が分担して授業を進めます。

**Keyword)** [キーワード]

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** [関連科目]

**Goal)** 正確な発音と基礎文法を身につけることを目標とします。

**Schedule)**

1. ガイダンス
2. 発音 A・B
3. 発音 C・D
4. 第 1 課
5. 第 2 課
6. 第 3 課
7. 第 4 課
8. 第 5 課
9. 中間テスト
10. 第 6 課
11. 第 7 課
12. 第 8 課
13. 第 9 課
14. 第 10 課

15. 期末試験

16. 総括授業

**Textbook)** 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム版①』(朝日出版社)1500 円。  
CD があるので必ず購入すること。

**Reference)** [参考資料]

**Evaluation Criteria)** 二人の教員がそれぞれ別個に評価を行い、合算して最終的な評価を決定します。評価方法:平常点、中間考査及び期末試験により総合的に評価します。三つの部分の点数配分については、出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が 10%、中間考査が 40%、期末試験が 50%ということになっています。

**Re-evaluation)** 有

**Message)** 間違えることを恐れずに積極的に中国語で話しかけてください。それが上達への近道です。欠席・遅刻はしないこと(特に第一回はガイダンスなので必ず出席すること)。週一回のみの履修不可なので再受講希望者は要注意。

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220946>

**Contact (Office-Hour, Room, E-mail)**

⇒ 施 .

**Note)** 水 1-2 田中(智)先生とペア